

別紙様式 1

平成24年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立障害者交流プラザ (障害者交流センター及び視聴覚障害者支援センター)	施設所在地	徳島市南矢三町 2 丁目 1 ー 5 9
指定管理者名	(社福) 徳島県社会福祉事業団	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所管課	障害福祉課	【連絡先】	088-621-2248

1 施設の概要

設置年月日	平成 1 8 年 4 月 1 日
設置目的	【障害者交流センター】 障害者に対し、交流の場の提供、相談、情報提供等の支援を行うことにより障害者の自立と社会参加を促進する。 【視聴覚障害者支援センター】 視聴覚障害者に対し、相談、情報提供等の支援を行うことにより障害者の自立と社会参加を促進する。
施設内容	【障害者交流センター】 研修室、調理実習室、ブレイルーム、アートワークルーム、OA 研修室、盲人卓球室 【視聴覚障害者支援センター】 点字・録音図書閲覧室、対面朗読室、書籍・ビデオ閲覧室、調理等訓練室、生活訓練室 等
利用料金等	別添のとおり
開館日・休館日等	【障害者交流センター】 休館日：1 月 1 日から同月 3 日まで及び 1 2 月 2 9 日から同月 3 1 日まで。 【視聴覚障害者支援センター】 休館日：木曜日(木曜日が休日に当たるときはその日後においてその日にもっとも近い休日でない日) 1 月 1 日から同月 3 日まで及び 1 2 月 2 9 日から同月 3 1 日まで。

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	【障害者交流センター】 1 研修室、ブレイルームその他の施設を利用に供すること。 2 その他障害者の社会参加及び交流の促進のために必要な事業を実施すること。 【視聴覚障害者支援センター】 1 点字刊行物及び視覚障害者用の録音物の製作及び貸出し 2 対面朗読サービス 3 点訳奉仕員及び朗読奉仕員の養成 4 視覚障害者に対する生活訓練 5 聴覚障害者用の録画物の製作及び貸出し 6 手話通訳者の養成 7 視聴覚障害者に対する相談、指導及び助言 8 その他視聴覚障害者の支援のために必要な事業を実施すること
------------	--

3 施設の管理体制

【障害者交流センター】								
管理体制	正職員	4 名	臨時職員	2 名	その他	3 名	計	9 名
	館長 1 名、所長 1 名、次長兼係長 1 名、係長 1 名、主任主事 1 名、臨時職員 2 名、非常勤職員 3 名							

【視聴覚障害者支援センター】								
管理体制	正職員	6 名	臨時職員	1 名	その他	4 名	計	11 名
	所長1名、次長1名、次長兼係長1名、主任指導員1名、指導員2名							
	臨時職員 1名、非常勤指導員 1名、パート支援員 3名							

4 施設の利用状況

【障害者交流センター】														
利用者数 (人)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	2 4 年度	3, 965	3, 899	4, 359	4, 034	4, 083	4, 209	4, 787	4, 273	3, 581	3, 232	4, 513	3, 441	48, 376
	前年度	3, 965	4, 323	4, 248	4, 619	4, 536	3, 955	5, 196	5, 154	4, 118	4, 496	5, 157	3, 975	53, 742
	前々年度	4, 398	4, 407	4, 590	4, 707	4, 806	4, 997	5, 217	5, 327	4, 874	4, 674	4, 550	4, 332	56, 879

月別利用 料金収入 (千円)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	2 4 年度	345	154	122	301	197	182	212	198	39	110	149	84	2, 093
	前年度	323	160	341	192	185	221	341	181	156	155	151	110	2, 516
	前々年度	337	182	241	221	310	172	156	185	159	168	114	122	2, 367

施設毎 利用料金収入 (千円)		研修室等						計
	2 4 年度	2, 093						2, 093
	前年度	2, 516						2, 516
	前々年度	2, 367						2, 367

【視聴覚障害者支援センター】														
利用者数 (人)		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
	2 4 年度	669	698	794	865	661	881	762	781	738	729	770	769	9, 117
	前年度	649	682	826	691	688	626	726	739	748	720	803	680	8, 578
	前々年度	629	641	732	828	809	870	766	756	784	652	753	842	9, 062

5 収支の状況

【障害者交流センター】														
項 目		平成 2 4 年度			平成 2 3 年度 (前年度)			平成 2 2 年度 (前々年度)			(単位：千円)			
収 入	指定管理料	76, 611			76, 755			76, 755						
	利用料金収入	2, 093			2, 516			2, 367						
	事業収入	5, 714			9, 446			7, 671						
	その他	152			139			155						
	計	84, 570			88, 856			86, 948						
支 出	人件費	31, 749			31, 613			31, 185						
	管理運営費	51, 812			57, 771			55, 207						
	事業費	0						0						
	その他	0						0						
	計	83, 561			89, 384			86, 392						
収支		1, 009			-528			556						

【視聴覚障害者支援センター】

項 目		平成２４年度	平成２３年度（前年度）	平成２２年度（前々年度）
収入	指定管理料	49,545	49,445	49,445
	利用料金収入	0	0	0
	事業収入	1,216	201	988
	その他	1,763	1,397	3,012
	計	52,524	51,043	53,445
支出	人件費	42,625	42,443	40,518
	管理運営費	10,277	8,339	10,287
	事業費	0	0	0
	その他	0	0	0
	計	52,902	50,782	50,805
収支		-378	261	2,640

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	【障害者交流センター】 ・ 不必要なエネルギー使用の抑制、資料の簡素化による消耗品の支出抑制等による固定費のコスト削減が図られた。 ・ ＩＴ活用による通信運搬費のコスト削減及び「福祉の店」の販売手数料による収入財源の確保。 ・ 維持管理業務の集約化によるコスト削減。 【視聴覚障害者支援センター】 ・ 不必要なエネルギー使用の抑制、資料の簡素化による消耗品の支出抑制等による固定費のコスト削減が図られた。 ・ ＩＴ活用による通信運搬費のコスト削減。
サービス向上の取組	【障害者交流センター】 ・ 施設のＰＲと交流の場の提供 ・ プラザ見学会の開催、プラザ講座の開催 ・ 地域連携と利用者の参画 ・ 交流プラザフェスタの開催、ハート＆アートとくしまフェスタの開催、地域防災講座の開催 ・ 障害者の就労支援とボランティアの推進 ・ 障害者の自立支援の推進、ボランティアの推進 ・ 施設機能の有効利用と円滑な運営 ・ 企画展の開催、館内連絡調整会議の開催 ・ パソコンコーナーの設置 【視聴覚障害者支援センター】 ・ 点字図書館におけるデジタル化とネットワーク化の推進 ・ 生活訓練におけるICTの活用のための技術指導 ・ ユニバーサルデザイン製品等の常設展示 ・ 視聴覚障害者についての理解を深める講演会の開催 ・ 地元学校における福祉学習の支援 ・ 視聴覚障害者用福祉機器展の開催

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	【障害者交流センター】 ・ プラザ見学会の開催、プラザ講座の開催 ・ 交流プラザフェスタの開催、ハート＆アートとくしまフェスタの開催、地域防災講座の開催、 ・ 普遍救命講習会 ・ 企画展の開催、館内連絡調整会議の開催 【視聴覚障害者支援センター】 ・ 聴覚障害者余暇活動支援事業 ・ 視覚障害者支援ボランティア入門講座の開催 ・ 視覚障害者遠隔サポート事業 ・ 視聴覚障害者地域生活サポート事業 ・ ユニバーサルデザイン製品等の常設展示 ・ 同行支援従業者養成研修
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・ 利用者ニーズの把握 ・ 利用者ニーズへの対応 ・ 施設の利用促進	A	・ 昨年度とほぼ同数の利用者があり、安定的な運営が行われている。 ・ 【障害者交流センター】 ・ 御意見箱を設置するなど、利用者のニーズを把握し適切な対応を行っている。 ・ 【視聴覚障害者支援センター】 ・ 講座ごとのアンケートの実施や、年に１回満足度調査を行うなど、積極的に利用者のニーズの把握に努め、適切な対応を行っている。
②自主事業 ・ 計画した自主事業の実施	S	・ 交流プラザフェスタの開催など、施設の設置目的に沿った事業を積極的に実施している。 ・ 関係団体と連携し、障害者に対するケアの充実を図る事業を実施している。 ・ 障害に応じた災害時支援についての講演会の開催など、効果的な自主事業を実施している。
③適正な維持管理 ・ 施設の保守管理・修繕 ・ 年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・ 県備品等の適正な管理	A	・ 定期的に職員が施設内を巡回し、故障や異常に対し、適切に対応している。
④収支計画 ・ 収支計画の達成状況 ・ コスト削減の状況 ・ 外部委託の状況	A	・ 収支計画に沿った適切な執行が行われている。 ・ コスト削減に対する職員の意識向上に取り組んでいる。
⑤管理運営体制等 ・ 管理運営業務計画書 ・ 職員の配置、研修計画 ・ 諸規程の整備 ・ 利用料金の徴収、減免 ・ モニタリングの実施状況	A	・ 業務計画書に従い、職員の配置や適切な研修が行われ、施設の適正な維持管理が実施されている。 ・ セルフモニタリングの実施状況は、月次報告書により、報告が行われている。
⑥職員体制 ・ 職員の労働条件	A	・ 業務計画書に沿った体制が整えられている。
⑦地域への貢献 ・ 地元雇用の状況 ・ 地元企業への業務委託	A	・ 積極的に取り組んでいる。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	・館内連絡調整会議の開催など、必要に応じた連携が図られている。 ・関係団体と連携し、障害者に対するケアの充実を図っている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・監視カメラを設置し、適正な施設管理を行っている。 ・危機管理マニュアルに基づいた体制が構築できている。 ・緊急連絡網により、組織、県への連絡体制が整備されている。 ・個人情報の取扱いについては、職員の間で意識付けがされており、外部に流出しないよう留意している。
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・ unnecessary 電灯の消灯など、積極的なエコオフィス活動に取り組んでいる。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・法令に基づいた適正な運営がなされている。
総合評価	A	・概ね協定書の内容が達成されており、適正な管理運営が行われている。

〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

・施設の一部に、修繕の必要な箇所がある。指定管理者と連携を密にし、計画的な修繕を行っていく必要がある。

利用料金表

その1

区 分		基準額		
		午前 (午前九時から 正午まで)	午後 (午後一時から 午後五時まで)	夜間 (午後六時から 午後九時まで)
交流センター	研修室	八、九〇〇円	一、八〇〇円	一〇、七〇〇円
	調理実習室	一、九〇〇円	二、五〇〇円	二、二〇〇円
	ブレイルーム	七〇〇円	九〇〇円	八〇〇円
	アートワークルーム	二、八〇〇円	三、七〇〇円	三、三〇〇円
	OA研修室	五、〇〇〇円	六、六〇〇円	五、九〇〇円
スポーツセンター	体育館	六、四〇〇円	八、〇〇〇円	七、七〇〇円

その2

区 分			基本料金	超過料金
交流センター	盲人卓球室		五〇〇円	二五〇円
スポーツセンター	温水プール	小学校の児童	三〇〇円	一五〇円
		中学校の生徒	五〇〇円	二五〇円
		その他の者(学齢に達しない者を除く。)	七〇〇円	三五〇円

その3

区 分		基準額
スポーツセンター	トレーニング室	一回当たり 五〇〇円
規則で定める用具		規則で定める額

その4

区 分		基準額
スポーツセンター	温水プール回数券(利用十一回分)	その二の表の基本料金に係る温水プールの利用料金の額に十を乗じて得た額
	トレーニング室回数券(利用十一回分)	トレーニング室の利用料金の額に十を乗じて得た額
	温水プール及びトレーニング室共通利用券	その二の表の基本料金に係る温水プールの利用料金の額とトレーニング室の利用料金の額との合計額に百分の八十を乗じて得た額